

丸亀商工会議所

令和4年度 経営発達支援事業 事業報告書

評価 並びに 次年度方針

(令和4年4月～令和5年3月)

令和5年5月

はじめに

丸亀市は第二次産業振興計画(2018年～2022年)において、地域産業の振興にあたっては、創意工夫を凝らし、技術を磨く自立した中小企業の存在と成長が不可欠であり、そのためには、自らが経営を革新し、新製品やサービスを積極的に生み出す「挑戦する中小企業」を積極的に支援する必要があるとしている。また基本理念として「未来の100年企業を育むまち・丸亀」を掲げ、関係機関と連携し、中小企業を支援することを目指している。

当支援事業では、「中心市街地や商店街の商業機能強化」、「新型コロナウイルス等による環境変化への対応」「新規創業の促進による地域活性化」という地域の小規模事業者がその事業を維持、発展させていくための課題を解決すべく、令和3年3月に認定を受けた経営発達支援計画に沿って、本年度も以下の各種事業を実施した。

I. 経営発達支援事業の目標

- 目標1 「中心市街地や商店街の魅力向上による出店の増加」
- 目標2 「コロナ禍でも利益を生み出せる体質改善による事業継続力の強化」
- 目標3 「小さくてもやる気溢れる起業の創出と事業承継支援」
- 目標4 「職員の資質向上による支援力の強化」

II. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

①公開されている2次データの活用促進

公開されている各種調査データをテーマごとに分類し、当所HPに掲載し活用を促すとともに、経営相談時において、小規模事業者各々の課題等に応じたデータを抽出し活用することで、ターゲット顧客の動向や業界内の競合分析等、外部環境の整理に活用した。

【地域経済等の動向に関するデータ】

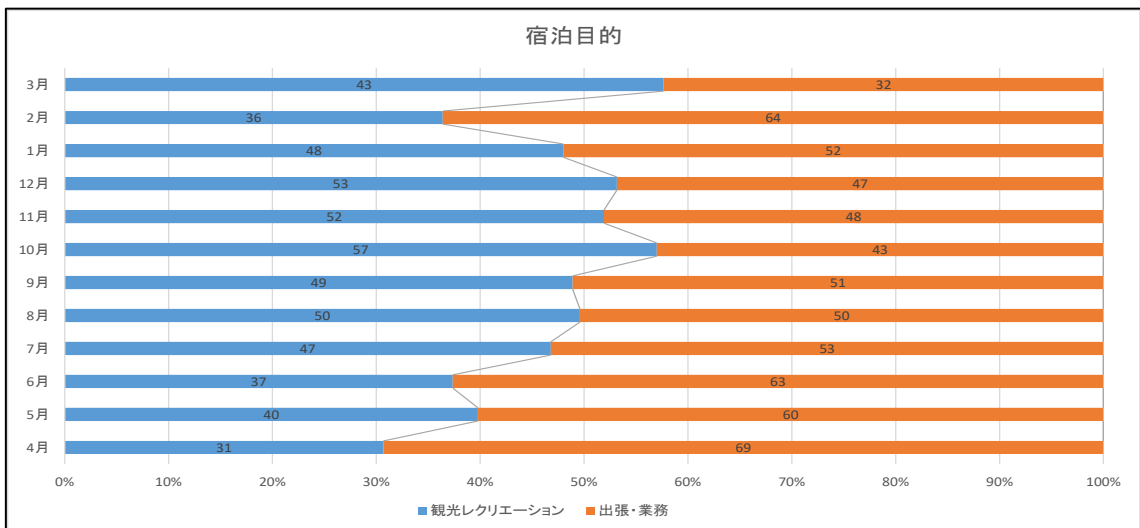
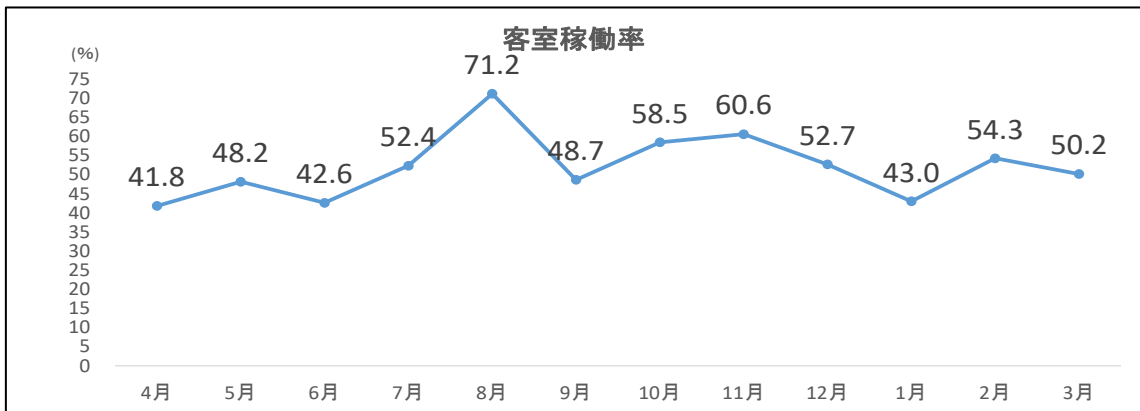
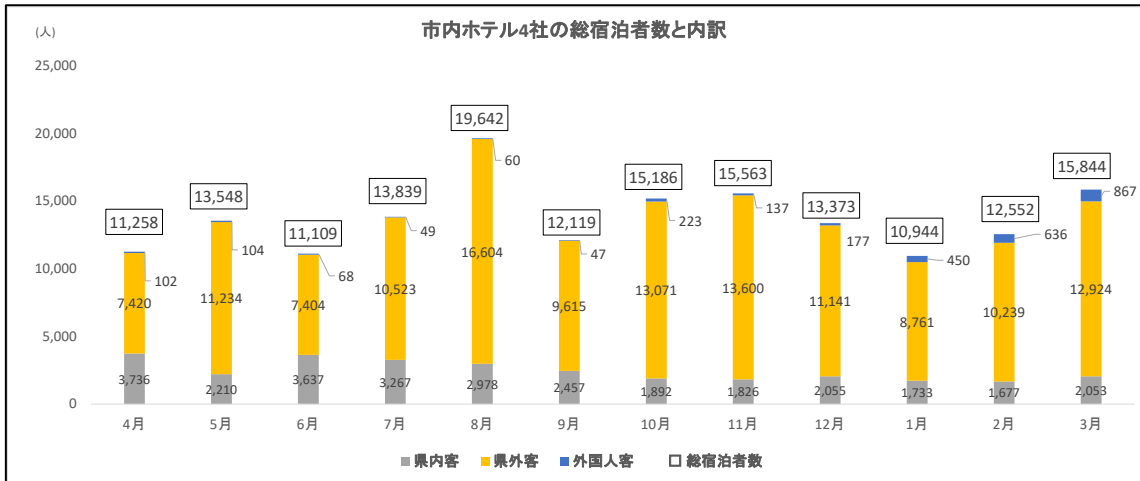
調査名	調査主体
中小企業景況調査	中小企業庁・中小企業基盤整備機構
四国地域の経済動向調査	四国経済産業局
日商早期景気観測調査	日本商工会議所
全国小企業月次動向調査	日本政策金融公庫

【人口構成・事業者数・観光客数】

調査名	調査主体
香川県統計情報データベース	香川県
丸亀市統計書	丸亀市
丸亀観光客数調査	丸亀市・丸亀商工会議所
丸亀市中央商店街通行量調査	丸亀商工会議所
丸亀市中央商店街空店舗調査	
丸亀市内宿泊者調査	

②丸亀市宿泊者調査の実施

市内の主要ホテルを対象に宿泊客数や来訪目的等を調査する「丸亀市宿泊者調査」を引き続き実施した。従来の調査は市内5社を対象としているが、臨時休業が1社あるため、年間通じて4社での実施となった。本調査により、市内を訪れる観光客等の増減を把握することで、小規模事業者がビジネスの方向性を模索するための基礎資料として活用できるよう努めた。



③国が提供するビッグデータ「REASAS」を活用した分析調査

(目標1件→実績1件)

経済産業省と内閣官房が各種統計資料を「見やすく、わかりやすく」提供している「REASAS (地域経済分析システム)」を活用し、当地域における産業構造や観光等をまとめたデータを当所HPにて公表した。本資料により、地域の強み・弱みを見える化することで、「すべきこと・できること」を見出し、優先順位をつけることで、事業者が効率良く需要を獲得できるよう支援した。

④地区内小規模事業者の景気動向調査 (目標2件 → 実績1件)

地区内の景気動向調査を下記の通り実施し、新型コロナウイルス感染症の影響と物価高騰等の環境変化への対応状況の把握に努めた。作成した報告書は、当所HPに公表し、事業者が当地域の経済状況を把握していただくとともに、当所支援事業に活用した。

調査期間	令和5年2月1日(水)～2月28日(火)
調査対象	管内 50社(サービス業・建設業・製造業・卸売業・小売業)
調査項目	売上高、仕入価格、経常利益、資金繰り、雇用、設備投資等
調査手法	WEB(Googleフォーム)及びFAXにて調査票を送付・回収

2. 需要動向調査に関すること

①顧客アンケートの実施及び分析支援

	目標件数	実績
アンケート実施事業者数	5件	3件
事業計画への活用件数	5件	3件

補助金申請に係る事業計画策定時や創業計画の策定時において、品揃えや価格の設定における参考データとして聞き取りアンケートを提案し、実施・分析を行った。そのうち目標としていたGoogleフォームを活用したアンケートを実施した事業者は1社のみであり、小規模事業者のIT化を推進するうえで、次年度以降の課題となった。

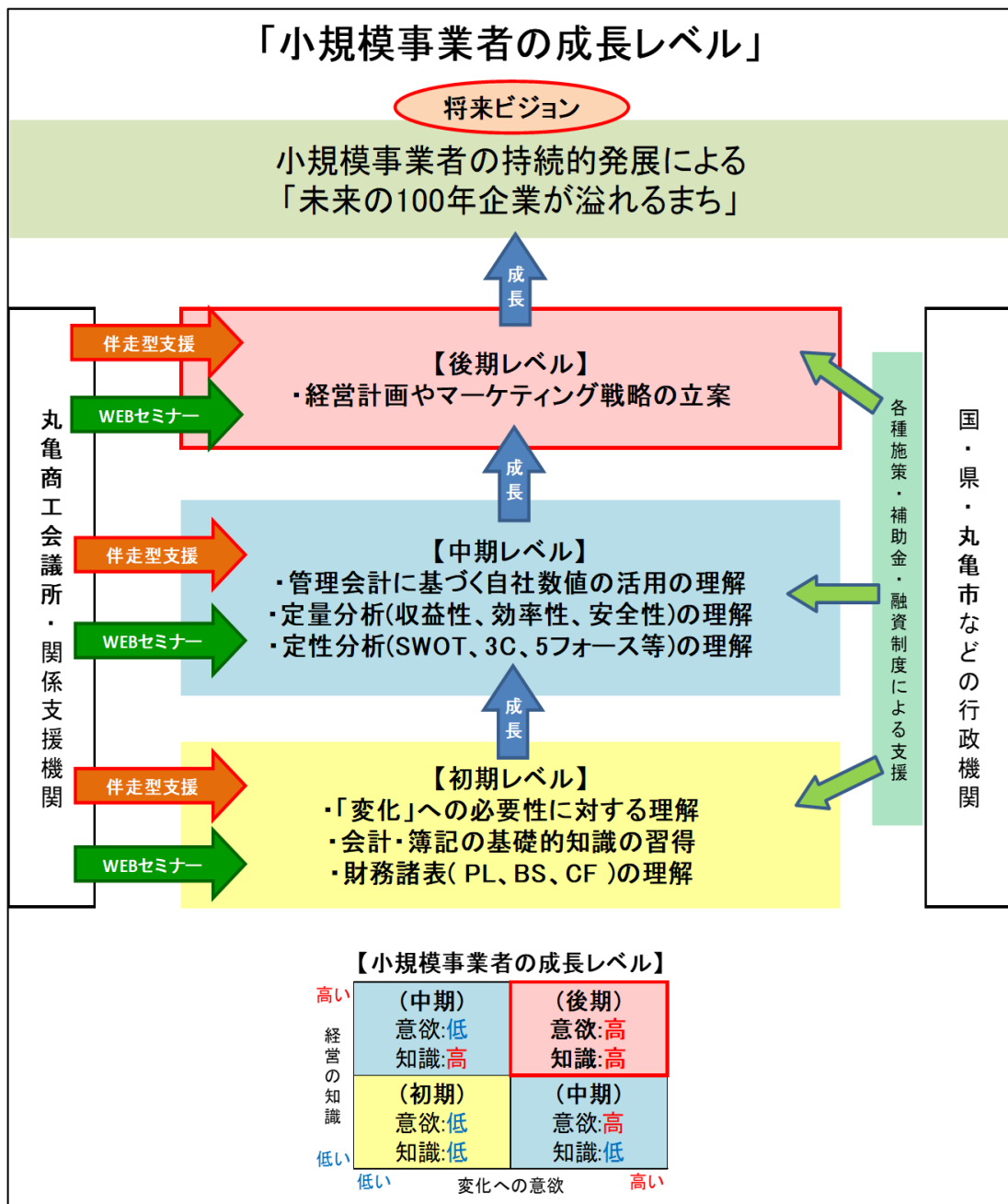
3. 経営状況の分析に関すること

①小規模事業者の経営分析 (目標20件→実績24件)

- ・小規模事業者持続化補助金や事業再構築補助金、経営革新計画の申請にあたり、小規模事業者24事業者の経営分析を実施し、財務分析(収益性、安全性、資金繰り)や、SWOT分析などを行うことにより、経営計画の策定をサポートした。
- ・令和4年度中に推薦を行ったマル経融資の申込事業者において、経営分析の必要性があると判断した事業者については、経済産業省が企業の経営状態の把握、いわゆる「健康診断」を行うツールとして推奨している「ローカルベンチマーク」を用い、財務分析等を実施した。

項目	件数
小規模事業者持続化補助金に係る経営分析等支援	18
香川県物価高騰等を乗り越える事業者を応援する総合補助金に係る経営分析等支援	2
事業再構築補助金による財務分析等支援	2
ものづくり・商業・サービス生産性向上補助金による経営分析等支援	1
マル経融資に係るローカルベンチマークによる財務分析等支援	1

② 「小規模事業者の成長レベル」の後期レベルへの移行数
(目標12件→実績7件)



小規模事業者持続化補助金等の申請により、経営計画やマーケティング戦略の立案を積極的に支援したことで、経営者自らが経営を見つめなおす機会の創出や当事者意識が向上し、上記表の「後期レベル」への移行をサポートした。しかし、経営者自身が定性、定量分析の結果を基に、経営計画やマーケティング戦略を作成する等の自走化に至った件数は目標件数には達せず、引き続き伴走型支援を継続していくことが、次年度以降の目標達成のための課題であるといえる。

4. 事業計画策定支援に関すること

① 個別相談会の開催（目標 常時→実績 3件）

過去において小規模事業者持続化補助金申請時に経営計画を策定した事業者等を対象に、進捗状況の確認、事業計画の見直し等を行う個別相談を実施した。

個別相談	件数
	3

② 事業計画の策定支援（目標 10件→実績 25件）

・下記の補助金の申請にあたり、25事業者の事業計画策定を支援した。

小規模事業者 持続化補助金 (一般型)	申請件数	うち計画策定支援	うち採択件数
	25	18	15

香川県物価高騰等を 乗り越える事業者を 応援する総合補助金	申請件数	うち計画策定支援	うち採択件数
	7	4	3

事業再構築補助金	申請件数	うち計画策定支援	うち採択件数
	2	2	0

ものづくり・商業・ サービス生産性向上 補助金	申請件数	うち計画策定支援	うち採択件数
	1	1	1

③ 創業計画の策定支援（目標 5件→実績 9件）

・新規創業希望者の相談にあたり、9事業者の事業計画策定を支援した。

創業相談	相談件数(事業者数)	うち計画策定支援
	58 (27 事業者)	9

④ 事業承継計画の策定支援（目標 2 件→実績 0 件）

・事業承継にあたり、2 事業者の相談があったが、具体的な計画策定には至らなかった。

事業承継	相談件数	うち計画策定支援
	2	0

⑤ 小規模事業者のニーズに沿ったWEBセミナーの開催

小規模事業者が、税務・財務・経理、経営、販路開拓、経営革新・事業承継、法律、労務等のコンテンツに分類された 600 以上のセミナーを「学びたいとき」に「興味がある内容」を「いつでも、どこでも、繰り返し受講できる」ことを目的に、「丸亀商工会議所WEBセミナー」を引き続き開設し、事業者自身が意欲的に学ぶことでレベルアップを図った。

丸亀商工会議所 WEB SEMINAR

ようこそ！丸亀商工会議所 ゲスト会員様 ログイン

本サイトについて よくあるご質問

キーワード検索... カテゴリー

ピックアップセミナー 人気ランキング

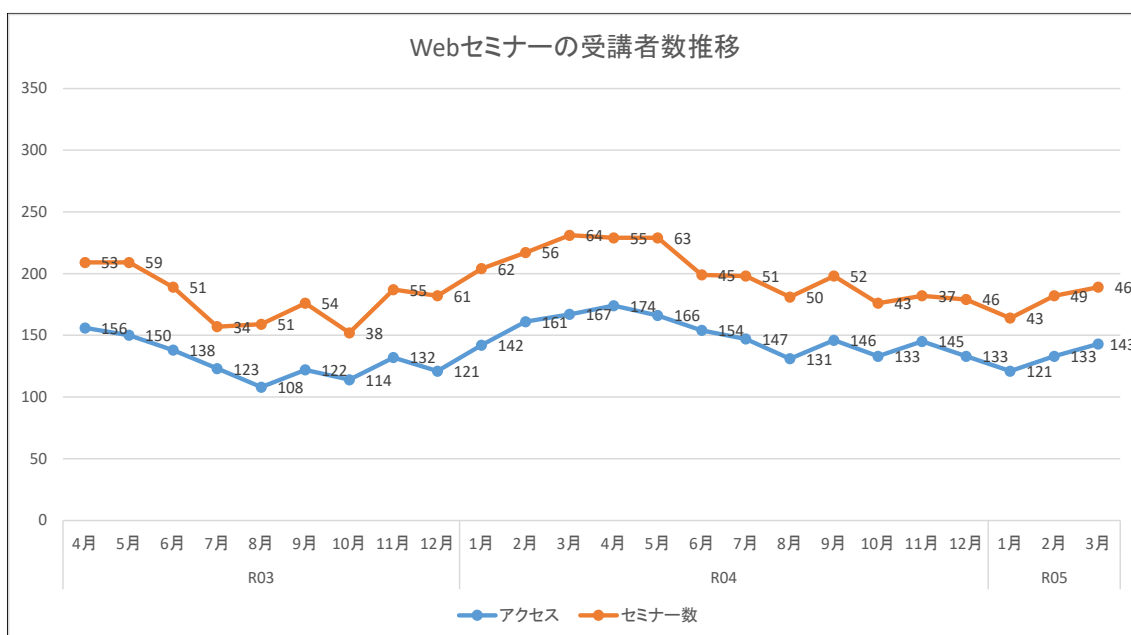
持続化補助金セミナー

“持続化補助金とは？”ウイズコロナに向け、売上を拡大するためにかかる費用の一部が補助される国の補助金です。経営計画書作成や補助金申請のポイントを学び、販路開拓や新サービス導入による売上拡大を目指しましょう！（要件あり）例：販促チラシの作成送付、店舗改装など（収録：2023年4月21日武蔵野商工会議所）（公開期限：2024年4月30日） ※当補助金はお近くの商工会議所・商工会においても同じ事業が行われています。（68分）

高坂 竜太（こうさか りゅうた）
高坂診断士事務所 代表 中小企業診断士

視聴・詳細情報はこちら

パソコン研修 研修・人材育成 税務・財務・経理 経営革新・事業承継



同WEBセミナーにおいて、令和4年度ではアクセス総数 1,726 回(月平均 144 回)、受講セミナー種類数 580(月平均 48)という結果で令和3年度より増加したものの、目標である年間視聴回数 2,500 回は達成できなかった。しかし、WEBセミナーは時間が限られている経営者にとって魅力的なコンテンツであるため、関係機関と連携し、よりニーズのあるセミナーの開催と周知方法の工夫により、利用促進に努めていきたい。

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

① 事業計画策定事業者のフォロー

策定した計画に基づき意欲的に事業を展開しようとする事業者に対して、フォローを実施した。支援回数としては、令和4年度中に計画を策定した事業者については2か月に1回、令和3年度中に策定した事業者に対しては4か月に1回、それ以前に策定した事業者に対しては、半年に1回の頻度でフォローアップを行った。

これらの巡回指導等を通じて、補助金採択後や創業後の販路開拓等に係る計画の進捗状況の確認を行い、必要に応じて計画の修正をサポートすることで、売上・利益の確保に努めた。今後も継続的に支援しつつ小規模事業者自身が課題を見つけ、実施できる体制を整えられるよう支援していく。

【事業計画】

目標項目	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	10社	16社
頻度(延回数)	64回	71回
売上増加等の目標達成者数	6社	10社
利益率2%以上増加の事業者数	3社	5社

【創業計画】

目標項目	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	5社	9社
頻度(延回数)	36回	42回
売上増加等の目標達成者数	2社	5社
利益率2%以上増加の事業者数	—	—

【事業承継計画】

目標項目	目標	実績
フォローアップ対象事業者数	2件	0件
頻度(延回数)	8回	—
売上増加等の目標達成者数	—	—
利益率2%以上増加の事業者数	—	—

- ② 日本政策金融公庫「小規模事業者経営発達支援融資制度」事業計画策定
→令和4年度は申込者なし。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業

① WEB展示会場「丸亀えーもん市場」の運営と小規模事業者の動画制作



小規模事業者が展示会等に出店するには、資金や人材不足が障壁となり、なかなか実行できないのが現状と言える。よってWEB上に仮想展示会場を開設し、魅力ある小規模事業者の商品やサービスを動画で楽しくわかりやすく紹介する「丸亀えーもん市場」を平成28年度より開設し、地区内小規模事業者のPRに努めている。

本年度は小規模事業者の商品やサービスを根本から見つめ直し、強みを明確化させることで他社との差別化を図りつつ効果的にPRできるよう、昨年同様に対象事業者を3社に絞り込み、PR動画(約5分)に加え、コマーシャル映像(15秒~30秒程度)も併せて制作。HPやSNS等に掲載してもらうことで、商品やサービスの概要が短時間で訴求でき、PR動画や該当ページへの誘導がスムーズに行えるように支援を行った。出展後に聞き取り調査を実施した結果、すべての新規出展事業者の問い合わせ件数が増加し、結果として売上が増加した事業者は2社という結果になった。また、令和3年度までに開催した事業者の中から、6社に対し、ヒアリング調査及び計画の立案・修正を行った結果、5社の売上増加に貢献した。本年度は展示数、売上等増加事業者数どちらも目標を達成した。

「丸亀えーもん市場」での売上等増加事業者 (目標6件→実績7件)

目標項目	目標	実績
「丸亀えーもん市場」展示数	59社	59社
売上等増加(5%以上)事業者	6社	7社

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

・事務局内部における定期的な情報共有と内容の検討

事務局内部において「伴走型支援連絡会議」を開催し、事業の実施状況についての報告と確認を行うとともに、今後の取組について検証等を行った。

・「評価委員会」設置による事業の評価・検証・見直し案の検討

香川大学経済学部准教授、中小企業診断士、四国税理士会丸亀支部事務局長、丸亀市産業観光課長、香川県団扇商工業協同組合代表理事、小規模事業者の代表者、法定経営指導員などの有識者で構成される評価委員会を令和3年度事業報告書については、書面評価にて実施し、事業の実施状況や成果の評価、並びに次年度に向けた見直し案の提示を受けた。

・ **正副会頭会における事業評価・検証及び見直し**

上記の評価委員会で提示された事業評価・見直しの結果については、正副会頭会に報告し承認を受けた。

・ **計画の評価及び見直し結果の公表**

上記会議にて決定した事業の成果・評価・見直し等の結果について、地域小規模事業者に広く公表するために、商工会議所のHPに掲載した。

① **他経営指導員や支援員との支援の現状やノウハウ等についての情報交換。**

「商工会議所経営支援事業担当職員研修会」 (年2回)

「丸亀税務署管内青色申告会連合会諸会議」 (年4回)

② **行政との情報交換や意識の共有**

丸亀市産業観光課、香川県経営支援課等との情報交換 (随時)

8. 経営指導員の資質向上等に関すること

① **中小企業大学校が主催する支援担当者研修への参加**

・ 中小企業支援担当者等研修(専門研修)

「小規模企業の目利き力アップ (商業)」 (令和4年5月31日～6月2日)

・ 中小企業支援担当者等研修(基礎研修)

「経営診断基礎 (商業コース)」 (令和4年6月20日～7月15日)

・ 中小企業支援担当者等研修(上級研修)

「円滑な事業承継・事業廃止の進め方」 (令和4年7月25日～7月29日)

中小企業支援担当者等研修(専門研修)

「女性経営指導員養成講座」 (令和4年8月23日～8月25日)

② **日本商工会議所や中小企業基盤整備機構等が主催する経営指導員等研修への参加**

・ 「第1回経営安定特別相談事業研修会 (再生支援およびBCP策定支援)」 (令和4年7月8日) ※オンライン

・ 「いよいよ始まる日本版インボイス制度」 (令和4年7月25日) ※オンライン

- ・「経営指導員支援ノウハウ・事例発表会」（令和4年7月29日）※オンライン
- ・「会員事業者に読んでもらえる会報づくりを目指す」（令和4年8月4日～5日）
- ・「IT化支援に必要な電子帳簿保存法の知識」（令和4年8月22日）※オンライン
- ・「経営計画書作成支援能力向上講習会」（令和4年8月25日～26日）
- ・「経営力再構築伴走支援「基盤スキルⅠ・Ⅱ・Ⅲ」講習会」（令和4年9月21日、26日、30日、10月7日、18日、25日）※オンライン
- ・「経営発達支援計画認定支援機関向け支援能力向上講習会」（令和4年12月8日～9日）
- ・「リアルな事例から学ぶ、サイバー攻撃を意識したBCPの重要性」（令和5年1月27日）※オンライン
- ・「中小企業のIT導入を加速させる『内製化』と『外部委託』～支援者が押さえておくべきポイントとは～」（令和5年2月20日）※オンライン

③支援スキルを組織内で共有するための取組み

- ・経営指導員や支援員同士の勉強会（月2時間）
- ・若手職員の支援スキル向上（窓口や巡回指導時におけるOJTによるノウハウの伝達）

9. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

① 中心市街地や商店街の魅力向上

まるがめ婆娑羅まつり2022は、新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止とした。

② 商店街における歳末イベントの実施

商店街における歳末の販売促進を目的として、丸亀市中央商店街振興組合と連携し、協賛店で買い物をすることで配布される抽選券1枚につき1回の抽選が可能となるイベントを、商店街の空き店舗を活用して令和4年12月18日（日）、19（月）に開催した。

③ 専門学校生とコラボした小規模事業者のロゴマーク等制作（6社）や商店街活性化事業（産学官連携事業）



▲学生が制作した商品パッケージ

ロゴマークは、社名等が単なる文字でなく「かたち」として認識され、顧客や取引先の印象に残り、企業のイメージ定着が図れる。また、商品パッケージなども、「どの会社の何という商品」といった情報がわかりやすくなり、他商品との差別化が図れ、販促効果も期待できる。よって独自のロゴマークや商品パッケージ、ポスターなどを作成したいが、時間や費用等の関係により、躊躇する小規模事業者のため

に、丸亀市及び穴吹デザインカレッジと連携し、学生のキャリアアップと市内商工業の振興を目的として、ロゴマーク等のデザイン制作をサポートした。

また、香川短期大学で食物栄養を専攻する学生や香川県農業協同組合丸亀統括店と連携し「地元農産物を活用した食品レシピ開発」にも取り組み、完成したレシピを商店街にて配布することで、商店街のPR等に取り組んだ。



④造船所見学会の開催

造船所の見学を通じ、未来を担う幼稚園や小・中学生に、船の魅力やものづくりの素晴らしさを理解してもらうために、日本財団の支援を受け、(一社)日本中小型造船工業会と共同で実施。新型コロナウイルスの感染状況を考慮しつつ、見学会等を下記の通り開催した。

・工場見学

令和4年8月8日(月)(於 今治造船㈱丸亀事業本部)

丸亀市立城南小学校より、児童・保護者 69名参加

令和4年10月14日(金)(於 興亜産業㈱)

琴平町立象郷小学校より、児童等 41名参加

令和4年10月28日(金)(於 興亜産業㈱)

香川県立多度津高等学校より、生徒等 37名参加

・進水式見学

令和4年4月6日(水)(於 興亜産業㈱)

丸亀市立金倉保育所、丸亀市立城坤幼稚園、はらだこども園より 園児等 134名参加

令和4年8月30日(火)(於 興亜産業㈱)

ABCプレースクール、丸亀市立南中学校より 園児・生徒等 98名参加

令和4年12月15日(木)(於 興亜産業㈱)

琴平町立象郷小学校より、児童等 124名参加

(総括)

2回目の認定を受けた経営発達支援計画に沿った各種事業の推進は本年度が2年目であった。前年度に比べ地区内小規模事業者における足元の業況は感染症流行前の水準に戻りつつある一方で、物価高騰等の経費上昇により利益を生み出すのに苦勞した一年であったといえる。

当所としても、様々な経営環境変化への対応や創業希望者に対する経営支援のレベルアップを図るため、研修等への積極的な参加や活発なOJTにより、地区内小規模事業者の事業継続支援に努めた。

WEBセミナーについては、「いつでも、どこでも、繰り返し受講できる」ため、事業者が知識を習得し、新しい何かを学ぶには最適のツールであると考えられる。今後、より事業者のニーズに合致した内容となるよう、適宜(株)イーブレーションに要望していくとともに、当所HPやSNS等を活用した周知に努めることで認知度向上を図る必要があるといえる。

また国や自治体から様々な補助金等の施策が発表されており、その申し込みに必要な事業計画の策定等について支援する機会が多かった。その中で当所としては、一過性の支援ではなく、傾聴と対話による「本質的課題の抽出」と「効果的な解決策の立案」を目的とした伴走型支援を行ってきた。創業希望者に対する計画策定件数も大幅に増加しているが、単に創業者の増加を目的とするのではなく、丸亀市が掲げる「未来の100年企業」の創出に向け、国や市町村が公表しているビッグデータ等を活用し、分析を行った上で、実現可能性が高い計画策定支援を行った。本年度は計画策定件数、売上増加事業者数等が増加しており、「小規模事業者の環境変化への対応」や「新規創業の促進による地域活性化」に向け、一定の成果があったといえる。

さらに、小規模事業者のPR動画制作については、商品やサービスの内容に踏み込んだ支援が必要であると判断し、対象事業者を3件に絞っている。商品の本質的な強みやそれに伴うアピールポイント、他との違いを明確化し、動画制作のコンセプトを固めることで、それらを的確に表現する動画を制作している。これにより、商品やサービスの概要が短時間で訴求でき、結果として、問い合わせや引き合いが増加し、売上増加への兆しが見えてきている。今後は事業者が主体的に自社HPやSNS等を活用し、効果的なPRができるよう、伴走型支援を行い、売上増加をサポートしていきたい。

令和5年度は、物価高騰等の影響に加え、新型コロナウイルス関連融資の返済が本格化し、資金繰りのさらなる悪化を招く事業者が増加すると予想される。そのような中、成長意欲のある小規模事業者に対しては、引き続き「本質的課題の解決」に向けた伴走型支援を続けていくと同時に、場合によっては、収益力の改善や極端な債務超過に追い込まれる前に、スムーズに事業を終了させる廃業支援が必要になることも考えられる。当所としては、関係各所と連携を深めつつ、本年度実績がなかった事業承継支援を含め、小規模事業者の実情に応じたきめ細やかな伴走型支援に取り組んでいきたい。

(事業に対する有識者の評価)

(会議名) 令和4年度 経営発達支援事業 評価委員会(書面評価)

(議題) (1)令和4年度経営発達支援事業に係る評価について

(評価方法) 書面による評価を実施

(評価期間) 令和5年5月17日(水)～22日(月)

(評価者)

丸亀市中央商店街振興組合連合会 代表理事 杉尾 英美 氏

香川県うちわ協同組合連合会 代表理事 山田 時達 氏

丸亀市産業観光課 課長 平尾 聖 氏

四国税理士会丸亀支部 事務局長 松井 政行 氏

国立大学法人香川大学経済学部 准教授 渡邊孝一郎 氏

中小企業診断士 山崎 純一 氏

以上6名

(評価の概要)

・丸亀市中央商店街振興組合連合会 杉尾代表理事より

小規模事業者の景気動向調査は目標2件に対して実績1件になっている。令和3年度は5月～6月に丸亀市の協力も得て1,500社弱の調査を行った特殊要因があり、4年度はこれを行っていない事が要因だが、目標を1件にするか別途調査をすべきではなかったのかと思う。

「小規模事業者のIT化の推進は次年度以降の課題」と記されているが、まさにその通りの着眼と思う。大切なことは推進するために「どうすればいいのか」、「どのような手法・方策を進めるのか」だと思う。

小規模事業者の経営分析は、昨年が実績18件だったが、今年は24件であり、補助金に係わる支援という要因が大きいのが、評価できる。「小規模事業者の成長レベル」についての実績件数と「自走化」が課題とあるが、小規模事業者の課題解決の上での難題であり、気長に進めるほかないと思う。

「事業計画の策定支援」、「創業計画の策定支援」については、ともに実績が目標を上回り、また昨年度の件数よりも大きく増えており評価できる。大切なことは、これらの支援が実際の経営の健全化・持続化につながる事だと思う。また、事業計画策定後の事業者フォローも大切なものであり、実績が目標を上回っているのは評価できる。

商店街における「歳末イベント」、「産学官連携事業」は引き続き実施していただければ、ありがたい。

総括のなかで、「廃業支援が必要になることも考えられる」と記載されている。一見後ろ向きな姿勢と見方ともとれるが、今後の大切な視点であり、この支援も必要になってくると思う。

・香川県うちわ協同組合連合会 山田代表理事より

長引くコロナ禍により、様々な行事やイベントが中止となり、旅行や観光なども激減したことで、丸亀うちわも甚大な影響を受けている。そのような中、連合会としては丸亀うちわのブランディングを目的に、SNSを活用した魅力の発信や、海外の展示会への出展など、従来とは違った角度からのPRを試みている。新型コロナウイルスによる影響が落ち着き、以前の社会生活に戻りつつある中、商工会議所と引き続き連携を行い、連合会や一事業者としてどのように対応していくべきかについての方向性を模索していきたいと考える。

・丸亀市産業観光課 平尾課長より

令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響も収まりつつあり、本市においてもコロナ禍前のようにイベント等が開催できるなど、少しずつ状況が改善されてきた。しかしながら、原油価格や物価の高騰による事業者への影響は大きく、これらの影響を受け、事業活動に支障が生じている事業者への新たな支援策に取り組むなど中小企業者支援に努めてきた。

令和4年度の経営発達支援事業についても各種補助金申請に対する事業計画策定数は、目標を大幅に上回る実績となった事に加え、最終的に多くの採択にも繋がったことで、事業者へ十分な支援が出来たのではないかと思う。引き続き、丸亀市も従来の産業振興支援事業を中心に商工会議所と連携し企業支援の強化を図りたい。

・四国税理士会丸亀支部 松井事務局長より

小規模事業者の実情に応じたきめ細やかな伴走型支援を引き続き推進してほしい。

特に、小規模事業者にとって、実施したくても資金・技術等の関係で着手できなかった分野を支援できれば良いと思う。

また、現在の施策である「丸亀えーもん市場」のPR動画や商品パッケージのロゴマーク制作等は、企業の情報発信に貢献していると思われるので支援を続けてほしい。

・国立大学法人香川大学経済学部 渡邊准教授より

まずは今年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により、様々な制約がある中でも、多くの点で実績を上げてきた点は評価できるかと思われる。特に、計画策定件数や売上増加事業者数等が増加している点は、社会・地域に貢献できる中小企業を活性化させるという面で一定の効果があったと思われる。

同時に、伴走型支援も自走化に至らなかったという一部課題は残るものの、有効なサポート方法と思われるため、引き続き積極的なサポートが重要になってくるかと思われる。

後は、新型コロナウイルス感染も落ち着きを見せつつある中で、いかにこれまで以上に事業を安定・成長させていくかという点で、経営支援以外にも地域、地域イベント等ともに関連させた新たな支援策やユニークな支援策を期待している。

・山崎中小企業診断士より

昨年度と同様、コロナ禍での経営発達事業となった。いろいろと制限や制約がある中の活動であったが一定の成果は創出できたと思料する。宿泊者調査等の調査事業は、小規模事業者コロナ禍の状況を把握して事業を行う参考となっている。需要動向調査については課題が残った。ローカルベンチマークを活用した経営分析等も行われ支援レベルの向上につながっている。厳しい環境下にあることもあり、成長レベルが上がった企業は想定より少なかった。事業承継計画以外の事業計画、創業計画の策定については順調に支援できている。実施フェーズの支援も同様の傾向がある。継続的に実施してきたWEBセミナーや小規模事業者のPR動画制作は、本事業の特徴的なものである。成果の創出に向け努力したが若干課題が残る結果となった。ロゴマークの作成や造船所の見学会は、地域の活性化に寄与する取組みであり、成果があったと思われる。経営発達支援事業の目標達成に向け、厳しい環境下であったが真摯に取り組んできたことがわかる。

(評価に基づいた次年度方針案)

評価委員からは、新型コロナウイルス感染症での制約がある中での事業推進において、一定の評価をいただいた。評価の内容を見ると、経営分析や計画策定件数については、おおむね高評価であった一方で、さらに事業者の成長レベルを高めるために必要な、「自走化」、「IT化」に関する支援を求める意見があった。

令和5年度は、目標に達しなかった項目について、計画に沿った地道な取り組みを続けることで達成を目指す。場合によっては、専門家を派遣する等、各事業者の実情に応じた的確な支援を継続していきたい。また、小規模事業者にとって、身近な相談先として「傾聴と対話」を心がけ、経営者自身の内発的動機付けを高めることにより、「自走化」「IT化の推進」をはじめとする各種支援に努めていく。

(事業の評価を報告し、次年度見直し案の承認を受けた正副会頭会)

(会 議 名) 令和5年度第1回正副会頭会

(開催日時) 令和5年6月5日(月) 午後4時～午後5時30分

(開催場所) 丸亀商工会議所 会頭室

(議 題) (1) 常議員会提出議案について

(2) その他

・令和4年度経営発達支援事業の評価並びに次年度方針(案)について他

(出席者)

丸亀商工会議所	会 頭	高濱 和則
丸亀商工会議所	副 会 頭	近澤 亨
丸亀商工会議所	副 会 頭	渡部 健司
丸亀商工会議所	副 会 頭	眞鍋 宣訓
丸亀商工会議所	顧 問	森 茂
丸亀商工会議所	専務理事	藤井 公雄
丸亀商工会議所	事務局次長	合田 浩治
丸亀商工会議所	所 長	横山 祥三

(議事の概要)

評価委員会における評価を報告し次年度方針案を諮ったところ、異議なく承認を受けた。